

暮らしを支えている「人と技術」を紹介し、土木技術の魅力を「観て・触れて・体験」してもらうために、『ふれあい土木展2015』が近畿技術事務所で2日間にわたって開催されました。六甲砂防事務所では、土石流模型実験装置の実演による砂防施設の効果の体験や、昭和13年に発生した阪神大水害の写真や六甲砂防事務所の様々な取り組みを紹介するパネル展示などを行いました。

概要

日時：平成27年11月13日(金)・14日(土)
10:00～16:00

場所：近畿技術事務所(大阪府枚方市)

主催：近畿技術事務所

参加団体：近畿地方整備局管内事務所、気象庁等

○模型実験による砂防えん堤の効果の体験



土石流災害の恐ろしさを体験



砂防えん堤による土砂調節機能の体験



土石流の前兆現象についての説明

近隣の小学生や一般の来場者を対象に土石流模型実験による体験や過去の災害や六甲砂防事務所の取り組みに関するパネル展示を行いました。また14日には土木・防災に関するクイズラリーの地点が設けられました。

土石流模型実験では、2つの模型の比較実験による砂防えん堤の土砂調節機能を体験してもらうと共に、過去に発生した昭和13年阪神大水害の様子や土石流の前兆現象、想定外の災害に備えた早めの避難の重要性について説明しました。

また、クイズラリーでは土石流の前兆現象に関する問題について、展示されたパネルや事務所職員の説明を聞いて解答している様子が見られました。

模型実験、パネル展示、クイズラリーを通して多くの来場者に砂防施設の効果や六甲砂防事務所の取り組みについて理解・関心を持って頂く事が出来ました。



クイズラリーの様子

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

